

5月 5-11日

## 格言 12章

101番の歌と祈り | 開会の言葉（1分） 滝秀貞 | 米山英行

### 神の言葉の宝

#### 1. 勤勉な働きは報われる（10分）梅原直行

無価値なものを追い求めて時間を無駄にしてはいけない。 (格 12:11)

一生懸命に働き、勤勉な人になる。 (格 12:24。塔研 16.06 30 ページ 6 節)

一生懸命に働く人は報われる。 (格 12:14)

ヒント 一生懸命に働くことから満足感を得るには、その働きがどのように他の人のためになっていいるかを考える。 (使徒 20:35。塔 15 2/1 5 ページ 4-6 節)

#### 2. 宝石を探し出す（10分）星延宏

格 12:16 愚かな人はすぐに(\*同じ日に)いら立ちをあらわにし、聰明な人は侮辱を見過ごす。

この聖句の原則は、問題に直面してもへこまないためにどう役立つか。(イ尋 記事 95 10-11 節)

何が問題かを知る。大きな問題か小さな問題かを区別しましょう。聖書にこうあります。「愚かな人はすぐにいら立ちをあらわにし、聰明な人は侮辱を見過ごす」。(格言 12:16) 全ての問題があなたに大きな影響を与えるわけではありません。

「学校では、ささいなことをオーバーに表現して文句を言う子たちがいます。SNS で『その通りね』って友達から言われると、どんどんヒートアップして問題を客観的に見られなくなっていました」。ジョアン

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。 (格言 12:23 聰明な人は知っている事を語らず、愚かな人の心は愚かなことを口走る。) 私たちは、野外奉仕や聖書レッスンで質問に直ぐに答えてしまい勝ちだが、12:23 「知っている事を語らない」という言葉から、人からの称賛を求める为了避免たり、教え方や教えるタイミングを見計らう大切さを学べる。特に聖書を学ぶ方々には自発的に聖書を研究する意欲や方法を身に着けていただきたいと思う。

#### 3. 聖書朗読（4分）格 12:1-20（教励 第 5 課）田中克彦

### 野外奉仕に励む

#### 4. 会話を始める 安齋恵理 愛込 1-4 小島奈帆美

(2分) 家から家で。 (愛込 レッスン 1 ポイント 4)

#### 5. 会話を始める 有田廣子 愛込 5-4 宮崎倫子

(3分) 家から家で。聖書レッスンを勧める。 (愛込 レッスン 5 ポイント 4)



## 6. 再び話し合う 田中麻美子 愛込 9-3 布川志津

(3分) 日常生活で。子供がいる人に公式ウェブサイトを見せる。 ([愛込 レッスン9 ポイント3](#))

## 7. 信じていることを説明する 長谷川裕美子 愛込 4-3 田島マヤ

(3分) 実演。[イ質記事3](#) 話題: エホバの証人は自分たちの宗教だけが正しいと信じていますか。 ([愛込 レッスン4 ポイント3](#))



## クリスチャンとして生活する

### 21番の歌

8. エホバの助けがあれば不安定な経済状況に対処できる (15分) 討議。 阿部直生

仕事が見つかるだろうか、失業しないだろうか、この先暮らしていくだろうか、と心配していますか。この世界の経済は不安定です。でも、[経済状況がどれほど変化するとしても、エホバはご自分を第一にする人に必ず必要なものを与えると約束。](#) ([詩 46:1-3; 127:2。マタ 6:31-33](#))

「エホバは決して私たちを見捨てたりされません」の[動画を再生する](#)。次の質問をする。

- ・アルバラド兄弟の経験からどんなことを学べますか。

[テモテ第一5章8節を読む](#)。次の質問をする。

- ・エホバはご自分を崇拜する人たちを必ず世話してくださる、とどうして確信できますか。

経済状況が不安定な時、以下の聖書の原則がどのように役立つか考えましょう。

- ・[生活をシンプルにする](#)。不要な負債や支出をしない。 ([マタ 6:22](#))
- ・[仕事や教育について、エホバへの崇拜を第一に](#)できるような決定をする。 ([フィリ 1:9-11](#))
- ・[プライドやこだわりを捨てる](#)。仕事が見つからないなら、職種にこだわらず、どんなつましい仕事もやってみる。そうすれば家族を経済的に支える助けになる。 ([格 14:23](#))
- ・[多くを持っていないとしても、持っている物を進んで分け合う](#)。 ([ヘブ 13:16](#))

**巡回大会の復習** (①どんな点からエホバをいつそう身近に感じましたか? ②どんな点を宣教で活用したいですか? ③どんな点を生活で当てはめたいですか?) 浮田蒼

9. 会衆の聖書研究 (30分) 徹26章1-8節, 204/208ページ囲み 司会: 有田悟 朗読: 長谷川貴史

---

閉会の言葉 (3分) | [57番の歌](#)と祈り 吉田忍

^([格 12:1-28](#)) 指導を愛する人は知識を愛しており、戒めを憎む人は分別\*がない。 2 善い人はエホバの好意を受け、悪巧みをする人は神に断罪される。 3 邪悪さによって安定する人はいないが、正しい人の根は引き抜かれることがない。 4 有能な妻は夫の冠であり、恥すべき行動をする妻は夫の骨を腐らせる。 5 正しい人の考えは公正であり、悪人の導きは欺きである。 6 悪人の言葉は命を奪おうと待ち伏せし、正直な人の言うことは命を救う。 7 悪人は倒されて、いなくなり、正しい人の家は存続する。 8 思慮深い口のゆえには称賛され、心の曲がっている人は侮辱される。 9 人に軽く見られても召し使いがいる方が、見えを張って食べ物がないよりもよい。 10 正しい人は家畜を大切にする。悪人たちの憐れみは残酷でしかない。 11 自分の土地を耕す人は食